

▼ 8月14日、15日
地域を照らす百八燈



東古泉地区で、お盆の8月14日、15日の2日間、百八燈が行われました。

愛護部が中心となって行われる『百八燈』。14日には百八の燈火をともし、故人を迎え、15日には故人を送ります。

子どもたちは大人に手伝ってもらいながら、慣れない手つきで点灯。小さな明かりが連なって、子どもたちの顔を温かく照らしていました。

▼ 8月6日
夏祭り前夜祭 カラオケの夕べ



毎年、塩屋海岸と松前公園で開催される恒例のまさき町夏祭りを前に、松前総合文化センターで「まさき町夏祭り前夜祭 カラオケの夕べ」が開かれました。会場のメインホールでは、町内ののど自慢たちが大勢の観客を前に堂々と歌声を披露。華やかな民舞や、出場者を応援する子どもたちの姿などもあり、会場は大いに盛り上がりました。最後は全員で瀬戸の花嫁を合唱し、締めくくりました。

▼ 8月3日
夏の夜のおはなしかい



松前総合文化センターふれあい展示室で、夏休み中の子どもたちを対象に、「夏の怖いおはなしかい」が開催されました。これは、毎月第4土曜日にふるさとライブラリーが開催しているおはなしかいが、より広い会場にとびだしたものです。

絵本の読み聞かせやパネルシアターに、集まった子どもたちは目を輝かせ、真剣に語り手の話に耳を傾けていました。

▼ 7月13日
電動車いす講習



北公民館で、高齢者のための交通安全教室が行われました。これは、最近、伊予署管内で高齢者による交通事故が多発していることを受け、高齢者の交通安全意識を高めるために開催されたものです。

参加者は、電動車いすの試乗や県警のふれあい号による運転体験をし、安全運転を再確認していました。

▼ 8月14日、15日
伝統の火流し



有明公園で、大間地区の伝統行事「火流し」が行われました。

14日の朝のうちに、麦わらを有明橋のたもとに集め、日が暮れると、子どもたちが川に入り、板にわらをのせて火をつけ、下流へ引っ張ります。大間の人は、この川の両岸に集まり、この火を眺めて故人を迎え、翌日には同じようにして、故人を送っていました。

▼ 8月8日
消防団が水防訓練を実施



万一の水害のときスムーズに水防活動を行えるよう、重信川堤防河川敷で水防訓練が実施されました。

参加した松前町消防団員約200人は、消防署員の指導のもと、ロープワークや積み土のう工法などを練習しました。団員は、全身に汗を流しながら重い土のうや資材を、手際よく処理し、各工法の習得に努めていました。

▼ 8月4日
歌って踊って大興奮



二名保育所と小富士保育所の園児、和楽園の利用者の皆さんが、和楽園で『わくわく座』の皆さんによる絵本の読み聞かせや生演奏音楽劇を鑑賞しました。

出演者のユーモアあふれる熱演に、みんな夢中になって見入っていました。また、劇中には、園児や利用者の方も参加して歌って踊る場面もあり、みんなで一緒に楽しい時間を過ごしました。

▼ 8月2日
一日食品衛生監視員が安全点検



一日食品衛生監視員事業が実施され、松山保健所から一日食品衛生監視員として町内の消費者20人が委嘱されました。これは食品衛生に関する知識の高揚と食品の安全性の確保を目指すために実施されたものです。監視員はさっそく7つの班に分かれ、エミフル MASAKI 内の施設をはじめ、町内の食品営業施設などの監視・採点などの巡回を実施しました。